

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・この先、値上がり商品が増えるのが心配である。値上げしたものの、値上げ効果で売上額が増えても、売上数量が落ちている物もある。ただ、売上全体が下落する様子はないので、まだしばらくはいい状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・団体旅行の見積依頼も入ってきており旅行需要は回復してくる。4月以降のパンフレットができたが、ヨーロッパなどかなり値上がりしているため、海外旅行は少し減少する。
		通信会社（管理担当）	・各種新サービスの開始や、他社との新料金競争も想定されることから、市場がますます活気付く。
	変わらない	ゴルフ場（従業員）	・予約状況がまあまあ良い。
		商店街（代表者）	・原油値上がり等で、周辺は戦々恐々としているが、単価等ははまだ跳ね上がっていないので、変わらない。
		百貨店（売場担当）	・外商は健闘しているが、店頭売上は相変わらず厳しい。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価が3～5%低下している。購入点数が今までより1点少ない。
	やや悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・売れている商品は大部分が冬物であり、気温がこのまま続けば2月いっぱいぐらいまでは今の状態で推移する。
		タクシー運転手	・卒業式シーズンだが、父兄が迎えに来て、その車で帰る傾向が強い。居酒屋・旅館等に、異動に伴う送別会等の予約もあまり入っていない。
		商店街（代表者）	・ガソリン・原材料の高騰により商品価格が上昇している。政治的にも不安定な状況が続いており、消費者はかなり先行きに不安を感じている。
		百貨店（営業担当）	・初売りは過去最高の売上となった。クリアランス中の、売上が集中する期間が毎年短縮している。
		スーパー（店長）	・当店でも、仕入価格の上昇によりカップラーメン等の店頭販売価格を引き上げているため、客も節約しないと生活できない。
スーパー（財務担当）		・原材料高・原油高により、物価上昇はすべての分野に及ぼうとしている。個人消費にブレーキが掛かる要因があまりにも多い。	
衣料品専門店（経営者）		・原油高や生活必需品の相次ぐ値上げにより、衣料、ファッションへの消費が更に低調になる。当分の間は前年割れを覚悟している。	
住関連専門店（経営者）		・12～1月の販売量は前年よりかなり少ない。	
悪くなる	一般レストラン（経営者）	・4月から、食料品など多くの値上げが見込まれており、臨時収入でもない限り消費増は見込めない。	
	都市型ホテル（経営者）	・予約状況が良くない。3月から新たなイベントが始まるが、こちらへの反応も決して良くない。消費が冷え込んできているということを実感する。	
	観光名所（職員）	・旅行会社からの予約や問い合わせが減ってきている。	
	設計事務所（所長）	・分譲マンションに大量の売れ残りが出ており、マンションデベロッパーの信用不安の噂が広がっている。	
	一般小売店〔乾物〕（店員）	・仕入価格の引き上げ要請もかなり来ている。売値は上げられず、この傾向が続くと困る。	
	スーパー（店長）	・石油価格の高騰、それに伴う物価の高騰が大きく影響している。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・原油高による物価上昇のため、買い控えをしている。
		乗用車販売店（管理担当）	・景気は悪くなるだろうという意見を、身の回りでよく聞く。
		美容室（経営者）	・先行き不透明な状況が続いているため、消費意欲の向上が見られない。
		木材木製品製造業（経営者）	・改正建築基準法の適用が若干緩和されたため、戸建て・プレハブ等は着工数が増加するが、マンションは相変わらず少ない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品の売上が少しずつ伸びてきているので、今後、採算が合ってくる。
電気機械器具製造業（経営者）	・設備の移転や新工場の設備の案件がたくさん入っており、3か月先は大変忙しくなる。		

	変わらない	通信業（営業担当）	・例年なら個人消費が伸びる時期だが、今年は諸物価の値上がりにより、支出を選別し消費を抑えるのではないかと心配する声を聞くことが多い。
	やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・全体では売上が増加しているが、個別の販売先ごとに見ると昨年比で決して良くない。今後、コストアップ分を価格転嫁する予定であり、我々の販売先である小売店での消費減退が見込まれる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・客が請け負う仕事は、単価の低下、人件費増加、さらに、合理化による清掃業務の吸収など態様の変化が見られ、部材高騰と合わせて先行き厳しい。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・大型トラックの稼働減少及び燃料高騰で運送業者は厳しく、これがトラックの登録減少につながり、今後小型クレーンの市況にも波及してくる。
		輸送業（経営者）	・原油価格高騰が何より大きい。
		通信業（支店長）	・携帯電話の新規顧客は年々低年齢化しており、人数も少なくなってきた。今年の春商戦ではその影響が現れてくる。
		不動産業（経営者）	・市内の中心部が、昨年はやや高い値段で取引されていたが、昨年後半からそういった動きも止まった。また、一般の住宅地は非常に売行きが悪い。
		広告代理店（経営者）	・原価の上昇が止まる要素が無い。
		広告代理店（経営者）	・営業成績が悪いので4月以降の広告出稿契約は削減方向で検討してほしいとの話が数件あり、景気はやや悪くなる。
		公認会計士	・経営者との話では、将来に対して不安を持っている人が多い。特に、原価率が上昇するということに対して強い警戒心を抱いている。設備投資に関しても非常に消極的である。
悪くなる	建設業（総務担当）	・明るい兆しはみえず、この分だと、今期は大幅な赤字決算になりそうである。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求人申込件数が、対前年同月比で微増している。
		職業安定所（職員）	・求人者からは、原油高やそれに伴う材料の高騰で、企業経営が圧迫されているという声を多数聞く。今後良くなるような要素もあまりみられず、今と変わらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・年度末・期末試験等により求職活動は停滞気味であるが、採用者数は微増の見込みである。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・新規案件は少なく、他社との競争が例年以上に激しくなる。
		人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けて期間満了する契約が増加し、それをカバーするだけの求人が見込めていない。
		民間職業紹介機関（所長）	・年明け以降、登録者が増えてきているが、その理由として、冬の賞与が前年より減少、または支給されなかったことで退職したという人も多かった。
	悪くなる	職業安定所（職員）	・30歳以下の若年層の就職は、中高年齢者より容易であったが、現在では45～54歳層の就職率との差がなくなっている。